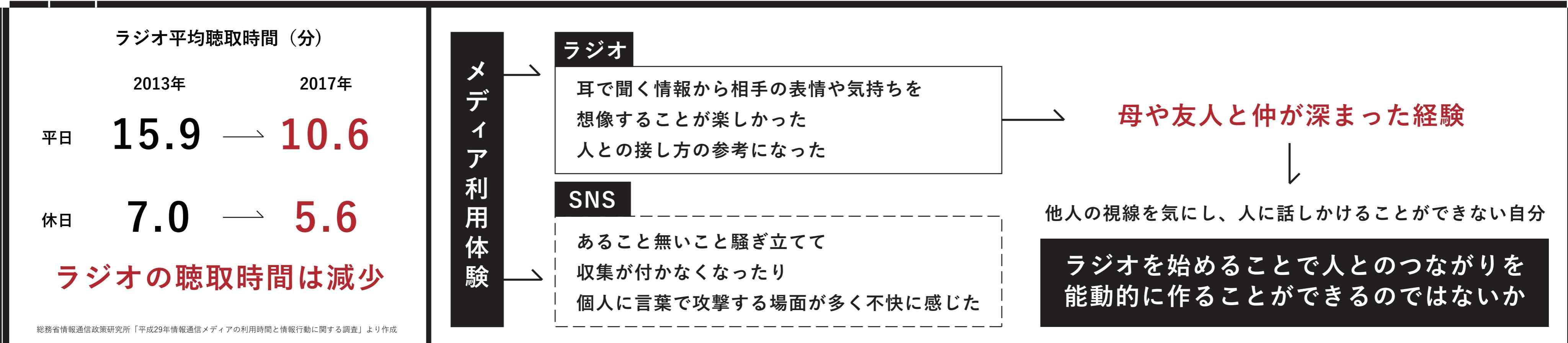


# ラジオ番組の制作プロセスと視聴者に及ぼす影響に関する研究

## - 「ラジオコネクト」の制作と実践を通じて -

建築・環境デザイン学科 環境計画・保存コース 福本研究室 172027 鹿内隆太

### 背景



### 制作

## RADIO CONNECT

「造形大生の今を伝える」というテーマのもと  
造形大生や地域の人の取り組み・考え・声を発信する  
インターネットラジオ番組

- ・ラジオコネクトができるまで
- 3年次の演習課題にてラジオに着目
- 実際に10分程度のラジオ番組を制作
- 指導教員からラジオ活動の声がかかる
- 2019.6、「ラジオコネクト」第1回放送開始

放送回数

計16回

(2019.6~2020.12)

ラジオコネクトQRコード



総視聴数

2279回

(2021.1.28現在)

<https://fkmt-lab.jp/author/ryutashikanai/>

Twitter

[https://twitter.com/MrDeer\\_Connect](https://twitter.com/MrDeer_Connect)

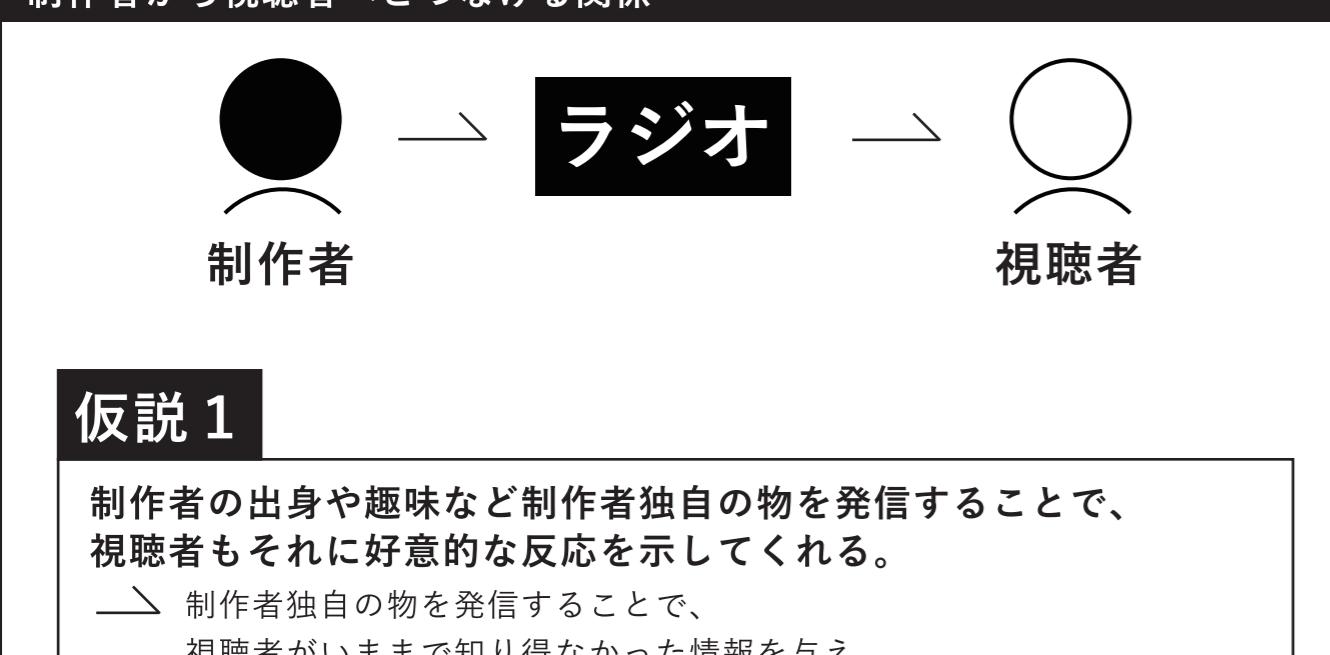
### 目的

ラジオにおける番組制作プロセスと視聴者に及ぼす影響の関係を明らかにすることを目的とする。

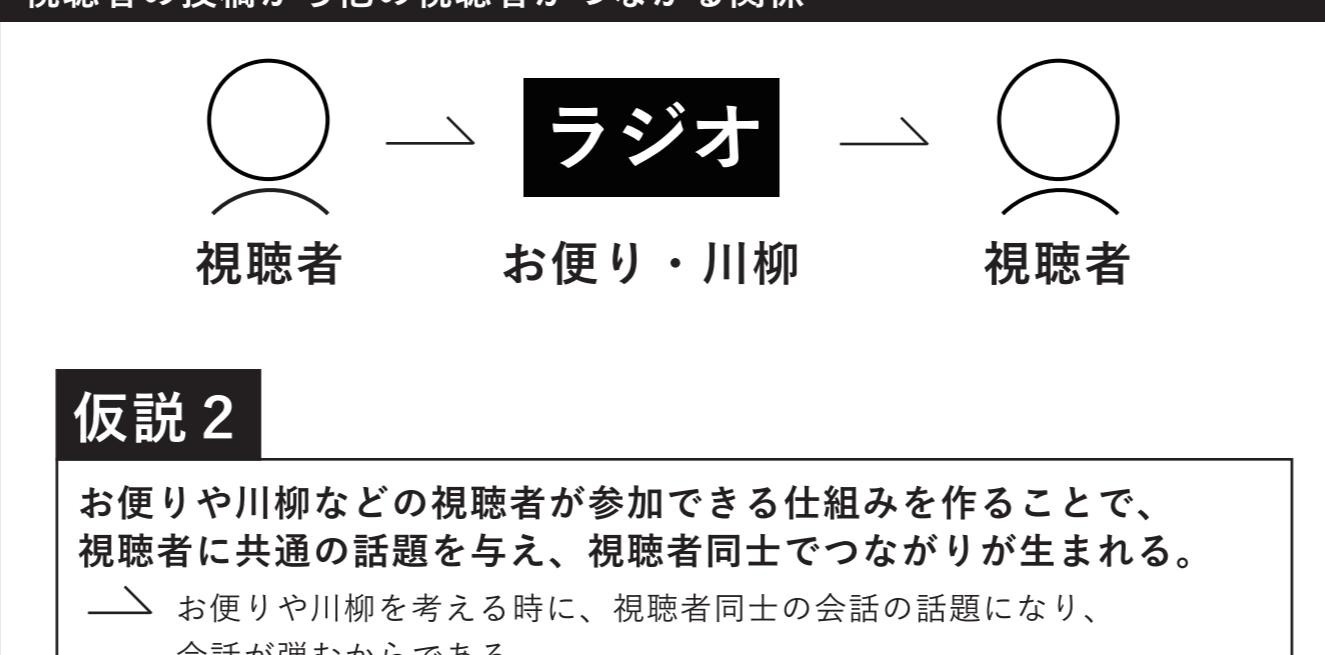
### 仮説

ラジオコネクトで「視聴者のつながり」について着目し得られた6つのパターンそれぞれに仮説を立てた。

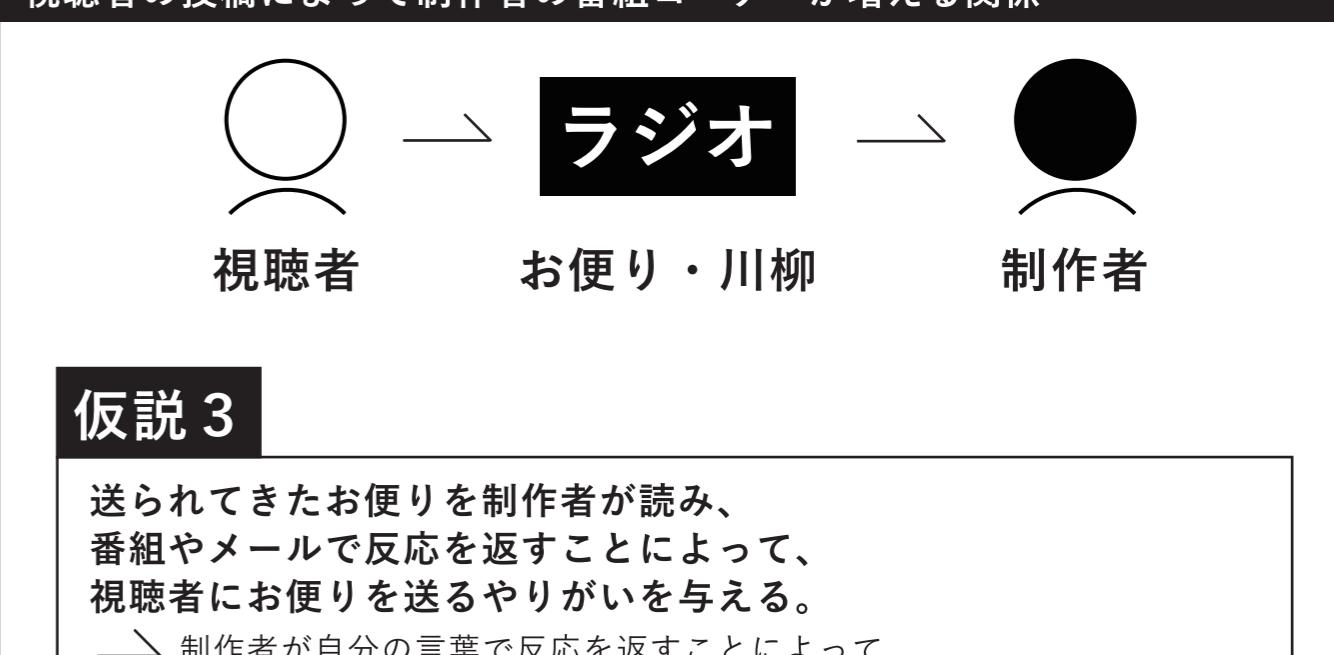
制作者から視聴者へとつなげる関係



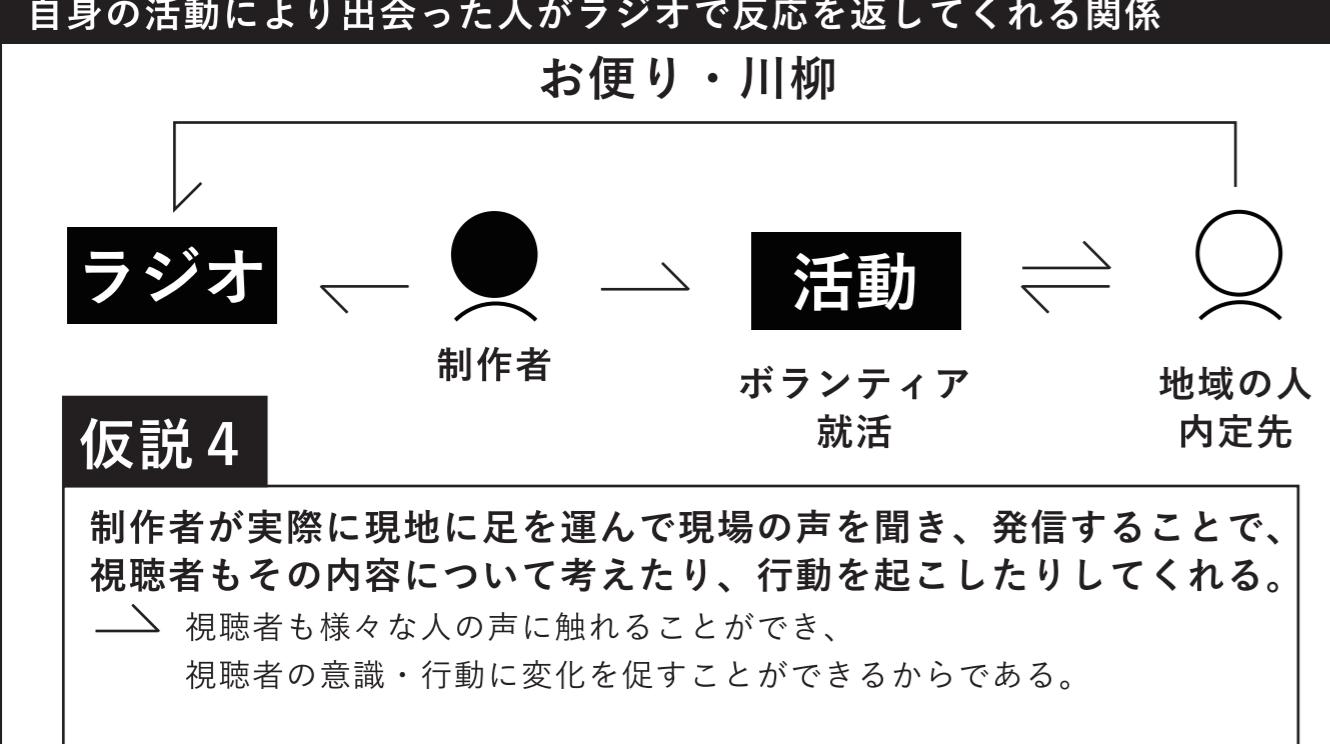
視聴者の投稿から他の視聴者がつながる関係



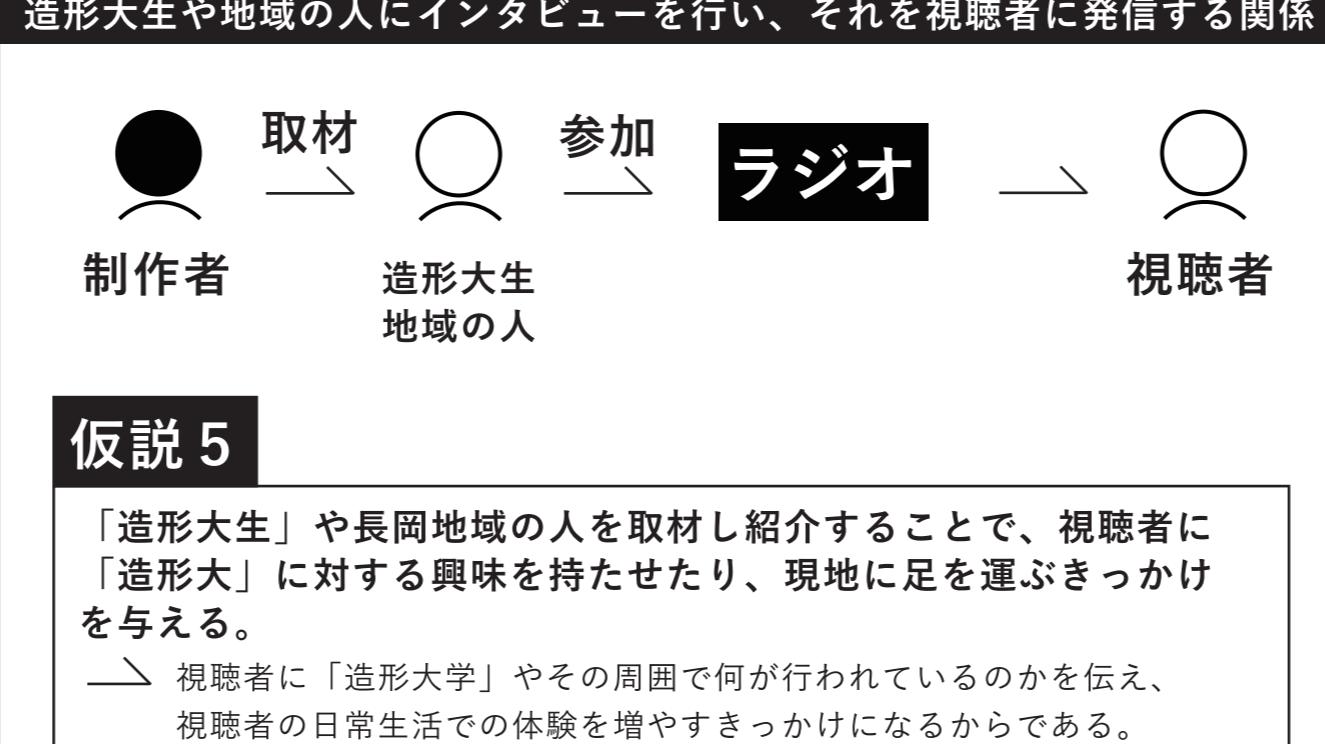
視聴者の投稿によって制作者の番組コーナーが増える関係



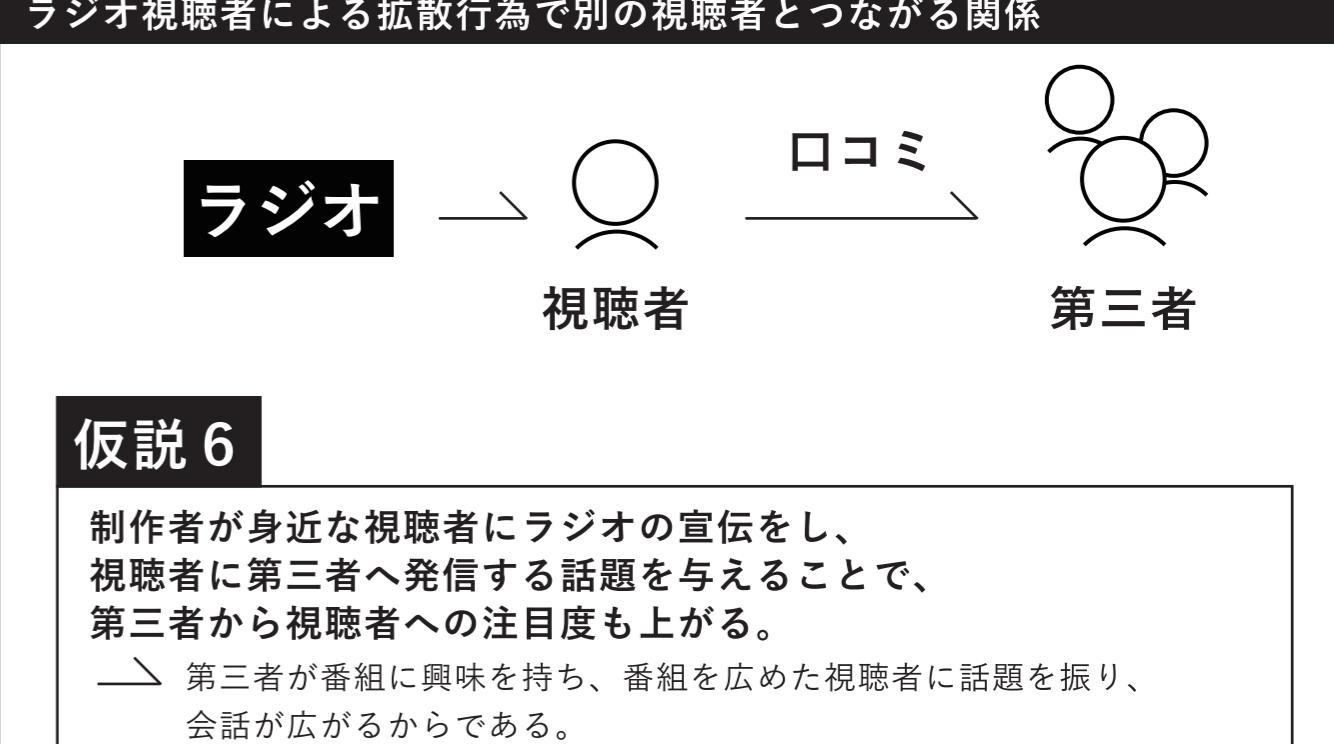
自身の活動により出会った人がラジオで反応を返してくれる関係



造形大生や地域の人にインタビューを行い、それを視聴者に発信する関係



ラジオ視聴者による拡散行為で別の視聴者とつながる関係



### 研究方法

#### 研究対象者

「ラジオコネクト」の視聴者

「ラジオコネクト」を全回視聴し、お便りを送ってくださる2名の方

S・Yさん—青森県在住の大学生

I・Sさん—内定先の人事担当である長岡市在住の30代男性

#### データ収集方法

・「ラジオコネクト」1~16回放送分の放送スクリプトを文字に起こし、文章データとした。

・研究対象者に対し、インタビュー調査を行った。  
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大を防ぐため、両名とも「zoom」を使用して調査を行った。

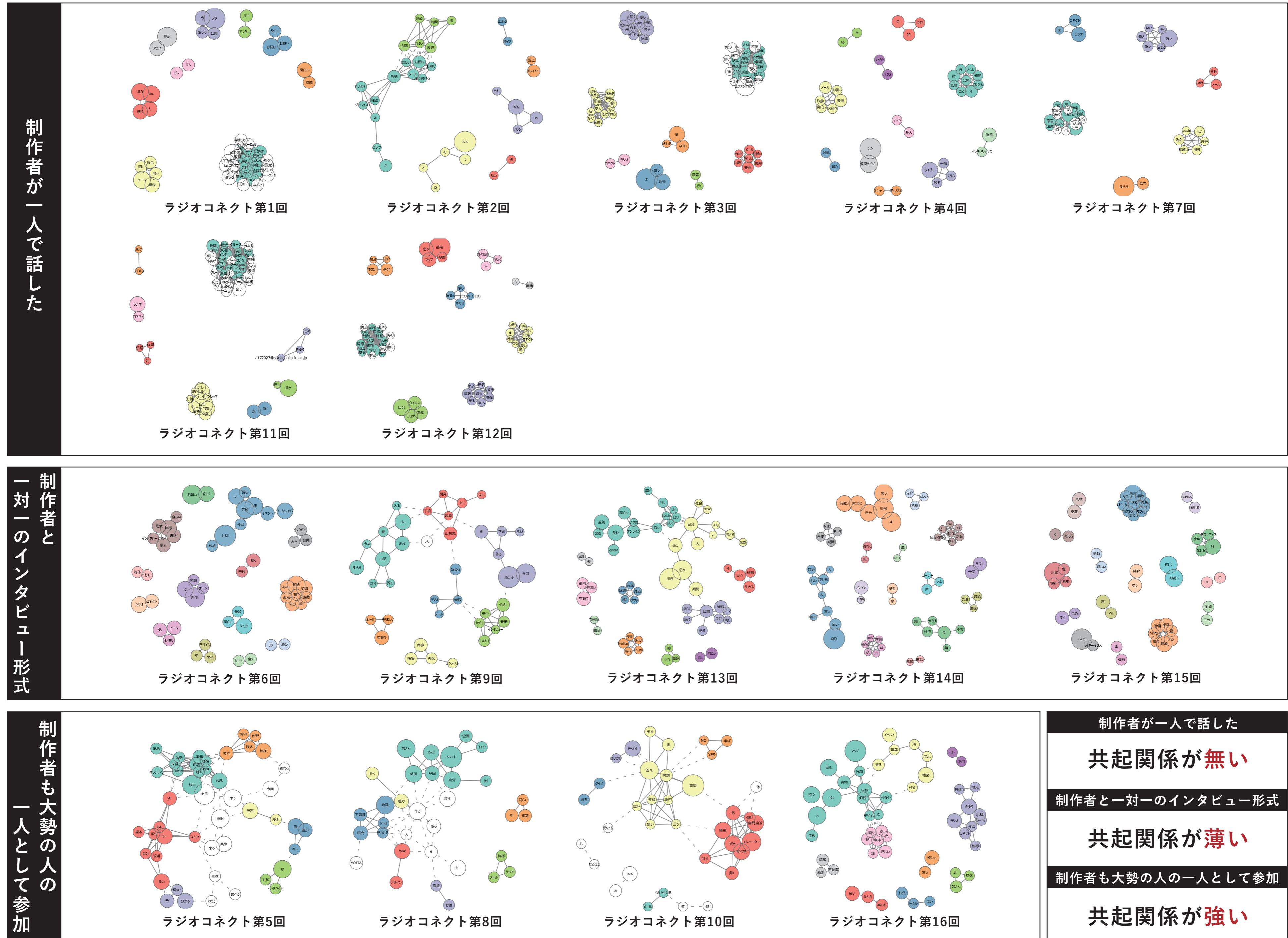
#### 分析方法

・「ラジオコネクト」放送スクリプトを共起ネットワークとして分析。  
番組制作プロセスの違いによって番組にどのような違いがあるか比較、番組制作プロセスと視聴者とつながりを分析。

・「ラジオコネクト」視聴者インタビュー調査から、番組が視聴者に及ぼした影響を分析。

## 結果・考察

### 共起ネットワーク分析



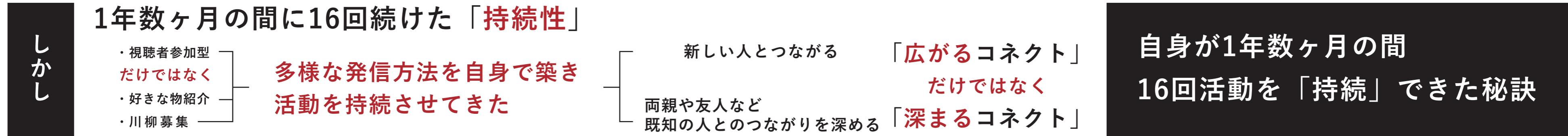
### 仮説の検証

仮説 1	仮説 2	仮説 3	仮説 4	仮説 5	仮説 6
制作者の好きな物を小出しにする程度では、視聴者は楽しいと感じることができると回答。しかし、視聴者がラジオ番組の内容に参加できることはラジオ番組の制作プロセスにおいて、視聴者に番組を印象づける重要な要素であると考える。	S・YさんとI・Sさんはお便りを送る際、お便りを読んでもらいたい、お便りと一緒にラジオを作り上げていきたい、という期待を持って送ってくださっている。制作者が視聴者からのお便りを番組やメールで反応を返すによって、視聴者がお便りに込めた想いに応えることになる。	不支持	不支持	支持	支持

### 考察

制作者も大勢の人の一人として参加  
共起関係が強い

制作者がイベント参加者の一人として制作した番組は、視聴者も制作者とほぼ同じ目線でラジオに参加することができ、また、その番組内で出てくる語は共起関係にあるため、視聴者は番組内容全体を把握しやすく、印象に残りやすいと考える。



## 結論

様々な発信方法があることを意識した上でその時その場で適した発信方法を選択する。これを繰り返すことで、「良質な持続」が可能になるはずである。この「良質な持続」こそがメディアリテラシーをライフスタイル化する最も重要な秘訣である。

## 提案

まちづくりに資する情報発信を個人で持続できる最も重要な秘訣として、多様な配信方法に基づいて、制作者本人のメディアリテラシーをライフスタイルに結びつけ、構築することを本研究における提案とする。